

(For School teacher)

Form 5

平成 23 年 3 月 1 日

サイエンス・ダイアログ事業 実施報告書

1. 参加機関(学校名)・担当者: 山梨県立都留高等学校

2. 参加研究者: Dr. Thomas Bell

3. 実施日時: 平成 23 年 1 月 14 日 (金) 13:06 ~ 15 :53

4. 参加生徒: 2 年生 28 人、 1 年生 1 人、 3 年生 1 人 (合計 30 人)
備考: SSH クラス

5. 講演題目: (英文) Nuclearpower

(和文) _____

6. 講演概要:

今年度初めてのフェローの講義に当初は緊張している生徒がいたものの、講師の先生と英語で会話をしたり、休憩時間にイギリス紅茶の作り方を教えていただいたりする国際交流を通して、講義の後半はリラックスして多くの質問をすることができました。講義は出身のイギリスの概要と原子力発電の際に生まれる放射能廃棄物を再利用する研究について丁寧にご説明いただきました。日本の原子力の技術は世界でトップクラスでどのように安全に運用されているかについて初めて知る話も多く、大変有意義な時間を過ごすことができました。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:

(1) 講演時間 100 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、プレ実験など)

プロジェクター使用

(3) 通訳 (例: 受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)

協力者 職・氏名

教諭 芦沢 友也

(4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

原子力の資料、英単語テスト、

9. 支給経費: 交通費 宿泊費 謝金

10. その他特筆すべき事項